

研究課題名	CT 画像を用いたマルチモーダルな情報からおこなう重症急性呼吸窮迫症候群の病態把握に向けて
研究期間	2026 年 10 月 5 日 ～ 2035 年 3 月 31 日
研究の対象	下記 3 つの臨床研究に登録された患者さん 1. J-CARVE registry (E2021-2768) “体外式膜型肺を要する急性呼吸不全患者の胸部 CT 画像に関する画像データベースの構築” 2. EXTEND ARDS study (E2024-0030) “人工呼吸器管理を必要とする ARDS 患者の抜管前後の管理方法を中心とした多施設前向きデータベースの構築” 3. ExPress Saver trial (C2022-0006) “急性呼吸窮迫症候群患者に対する体外式膜型肺管理中の至適呼気終末陽圧の検討：多施設前向き無作為化非盲検比較試験” いずれも 2012 年 1 月 1 日以降に ICU に入室した成人の重症急性呼吸窮迫症候群の患者さんです
研究の目的・方法	研究目的：重症の急性呼吸窮迫症候群（ARDS）の患者さんについて、胸部 CT 画像と血液検査などの診療情報を組み合わせて解析することにより、病気の重症度や病態のタイプ（型分類）を推定できるようにすることが目的です。 研究の方法：上記 3 つの臨床研究で既に収集されている、研究対象者の診療録（カルテ）内のデータおよび胸部 CT 画像を使用します。氏名等の特定の個人を識別できる情報を削除したうえで、これらのデータを人工知能の技術を用いて解析し、90 日以内の病院内死亡や病態のタイプ（Wet、Dry、Fibrotic type）を推定するモデルを作成して、その精度を検証します。この研究のために新たな検査や治療を行うことはなく、患者さんに新たなご負担が生じることはありません。
研究に用いる試料・情報の種類	収集する項目： ■既存資料 ■診療録（転記事項：年齢、性別、転帰（30 日及び 90 日死亡の有無、ICU 退院時死亡の有無）、ARDS の原因、既往歴、発症から VV-ECMO 挿入までの期間、身長、体重、血液ガス検査結果、血液検査結果、VV-ECMO 挿入時の人工呼吸器の設定、ECMO 設定、入院後の治療内容、撮影した胸部 CT の読影レポート） ■その他（種類： 画像データ、転記事項：ECMO 挿入前もしくは挿入直後に撮影された胸部 CT 画像 ） 試料・情報の管理責任者： 広島大学病院 病院危機医療センター

	特任講師 錦見 満暁
利用または提供を開始する予定日	2026 年 10 月 5 日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。個人と連結させるための対応表は、各機関の研究責任者が厳重に管理します。
外部への試料・情報の提供	・統計解析および解析モデルの構築のため、共同研究機関である東京科学大学 M&D データ科学センター生物統計学分野に、氏名等の特定の個人を識別できる記述を削除した診療情報および胸部 CT 画像データを提供します。 ・提供の方法は、パスワードを設定した CD-ROM 等の記録媒体の郵送又は手渡しにより行います。 ・海外の機関への試料・情報の提供、及び外部業者への業務委託はありません。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院 病院危機医療センター 特任講師 錦見 満暁 研究機関の長 広島大学理事 田中純子 共同研究機関 研究代表者 東京科学大学 M&D データ科学センター生物統計学分野 教授 高橋 邦彦
その他	なし
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 広島大学病院 病院危機医療センター 特任講師

	担当者：錦見 満暁 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5456
--	--